

WBC ムエタイ倫理規定

WBC ムエタイに係わるすべての人は:

- I. 尊厳、公平、誠実さを最高の道徳原則とし、相手を敬い、ムエタイというスポーツをいかなる個人やグループの利益よりも優先する。
- II. いかなる犠牲を払ってでも選手の健康と幸福を守る。
- III. リング上、オフィス内、ジム内において正義と誠実さに反することを拒否する。
- IV. どこで発見されたかに関わらず、いかなる種類の腐敗も暴露する。
- V. 人種、国籍、宗教に基づく差別に反対し、それを阻止するために積極的に活動し、差別を行う者には決して協力しない。
- VI. WBC ムエタイに加盟しているすべての国の憲法、法律、規則を広め、それらの違反に決して加担しない。
- VII. WBC ムエタイの規則を常に順守し、尊重する。これを怠ることは、スポーツと WBC の組織を欺くことである。
- VIII. 選手、マネージャー、プロモーター、トレーナー、マッチメーカー、役員、コミッショナー、または WBC ムエタイのメンバーのいずれであっても、通信メディア(SNS)を使用してコミュニティの他のメンバーを中傷、誹謗、名誉毀損、侮辱したり、それによってスポーツ自体に損害を与えたりすることは決してなく、代わりに不当に他人を傷つける人の行動に対し、勇気を持って暴露する。
- IX. 私たちのスポーツに最大限の努力を捧げ、共に関わるプロモーター、マネージャー、選手、およびボクシングに関わる他のすべての人々にも同じことを期待する。
- X. スポーツに関わる多くの人々に恥をかかせるような非倫理的な行為は控える。
- XI. 選手は常に努力に対して正当な報酬を受けべきであり、選手に損害を与えて一時的な利益を求めない。
- XII. ムエタイの人々の絶対的な平等を追求するため、常に他者の権利を尊重し、富や権力をいかなる決定にも影響を与える要因としない。
- XIII. 虚偽の表現やその他の手段で他者を欺くことは決してせず、常に善意で事実と真実を提示して問題解決を行う。
- XIV. 強要行為、利害対立、または不当な競争制限となる可能性のある事業や活動に決して従事しない。
- XV. 選手は、リング内、公の声明、一般の人々、選手コミュニティ、メディアに対する態度において、良きスポーツマンとして行動する。
- XVI. 選手は、試合開始前と最終ラウンドの開始時に握手し対戦相手に敬意を示す。
- XVII. この憲章および WBC 規則に従った有効な抗議に限り、審判員の決定を最終的なものとみなす。

WBC ムエタイルール (12/18/2024 改定)

ムエタイ競技のルールと規則

ルール 1: リング

- 1.1) 競技リングには、承認された安全マットが備え付けられていなければなりません。両陣営の合意があり、地元のコミッションと WBC ムエタイスーパーバイザーの許可がない限り、リング内の広さは 18 フィート (5.5 メートル) 以上 24 フィート (7.3 メートル) 以下でなければなりません。エプロンはロープから 24 インチ (0.61 メートル) の広さが無ければなりません。
- 1.2) リングには安全のため 4 本のロープが必要です。ロープはキャンバスから最低でも 4 フィート (1.22 メートル) の高さまであり、直径は 1 インチ (2.54 センチメートル) 以上で、柔らかい素材でしっかりと包まれ、吊り下げられていなければなりません。
- 1.3) リングには、選手とスタッフが安全に出入りできるように、アクセスしやすい階段が両コーナーに各1つと、医療スタッフがリングに入るための階段が1つの設置が必要です。選手を保護するため4隅のコーナーすべてにパッドを取り付けなければなりません。
- 1.4) WBC ムエタイ タイトル戦は、すべて上記記載のリング内でのみ行われます。

ルール 2: グローブ

- 2.1) 試合用のグローブは、ミニマム級からウェルター級まで 8 オンス、スーパーウェルター級からヘビー級まで 10 オンスです。別途記載および関係者全員の同意がない限り、主催者(プロモーター)がグローブを提供します。計量時にグローブチェックが確認された後は、試合当日グローブをはめるまで、スーパーバイザーまたは地元のコミッションがグローブを管理します。予備のグローブは、WBC ムエタイスーパーバイザーまたは地元のコミッションがリングサイドに保管します。選手に不当なアドバンテージを与えるためにグローブを違法に操作したことが発覚した場合は、WBC ムエタイの判断により該当者に制裁が科せられ、予備のグローブをメインのグローブとして使用されます。

ルール 3: バンテージ

- 3.1) 試合中、選手は両手を長さ 6m以下、幅 5cm以内の柔らかい素材のバンテージで巻かなくてはなりません。
- 3.2) 試合中、選手は長さ 2.5cm 以下、幅 2.5cm以内の粘着性のテープを手首もしくは手のひら部分に使用可能ですが、拳部分へのテープの使用は一切禁止です。
- 3.3) 選手は、地元のコミッションが提供したバンテージを使用する必要があります。もしくは、WBC ムエタイ スーパーバイザー・リングオフィシャルによる承認を受けたバンテージのみ使用できます。
バンテージは、選手の手適切に巻かれたことを確認するために、WBC ムエタイ スーパーバイザーまたは地元のコミッションによって検査され、バンテージに検査済みと記し、その後、選手はグローブ装着することができます。

ルール 4: ドレスコード

- 4.1) 選手は、シャツや靴を履かずに、太ももの半分の長さの清潔なショーツを着用する必要があります。選手のショーツは、相手選手のコーナーと同じ色であってはなりません。ショーツは、自身のコーナーと同じかそれに近い色であることが望ましいです。
- 4.2) 選手は、膝やその他の打撃から守るために、硬い素材でできたファールカップを着用しなければなりません。ファールカップの着用は必須です。女性選手は、女性用ファールカップを着用しなければなりません
- 4.3) 選手の手足の爪は、短くきれいに切らなければなりません。



WBC ムエタイルール (12/18/2024 改定)

- 4.4) 選手は試合前に敬意を表するワイクル時のみモンコン(Mongkon)を着用します。試合中、選手は上腕にプラジャド(Prajad)を着用することができます。プラジャドが試合の流れを妨げる場合は、レフェリーまたはセコンドが直ちに取り外さなければなりません。
- 4.5) 選手はアングルサポーターを各アングルに1つずつ着用できますが、すねサポーターとして使用したり、半分まで下げたりすることはできません。アングルや脚を布で包むことは許可されていません。アングルガードはパッド入りではなく、薄い布のみで作られたもののみ許可されています。アングルガードの下には何も着用しないでください。
- 4.6) 選手は、アングルガードから出ず、接触時のクッションにならず、伸縮や回転に対するサポートのみに限定した場合に限り、足首部を固定してサポートすることができます。足首の固定は、バンテージの検査と同時に、任命されたWBC ムエタイスーパーバイザーの承認を得る必要があります。テーピングによる固定は、選手に衝撃に対する優位性を与えてはなりません。選手は、ベルト、宝石、または危険な装飾品を身につけることはできません。
- 4.7) 試合前のマッサージ中のみ、選手の身体(首より下)にタイオイルを塗ることが許されています。多く使用した場合は、試合前に拭き取る必要があります。ワセリンは、切り傷を防ぐために最小限の量で使用が許可されています。ワセリンやタイオイルは、いかなる場合での服装に付着してはいけません。また、グローブにもワセリンやタイオイルが付着してはなりません。レフェリーは、各ラウンドの開始前にグローブをチェックし、必要であればふき取る必要があります。
- 4.8) 試合中は、マウスピースを着用する必要があります。試合中に選手が故意にマウスピースを吐き出すことは禁止されています。選手が故意にマウスピースを吐き出した場合、選手は警告を受けるか、違反が継続した場合、失格となります。

ルール 5: 階級

試合時の階級	リミット体重
ミニ・フライ級	100 ポンド(45.354 ㎏)以上 105 ポンド(47.627 ㎏)未満
ライト・フライ級	105 ポンド(47.627 ㎏)以上 108 ポンド(48.988 ㎏)未満
フライ級	108 ポンド(48.988 ㎏)以上 112 ポンド(50.802 ㎏)未満
スーパー・フライ級	112 ポンド(50.802 ㎏)以上 115 ポンド(52.163 ㎏)未満
バンタム級	115 ポンド(52.163 ㎏)以上 118 ポンド(53.524 ㎏)未満
スーパー・バンタム級	118 ポンド(53.524 ㎏)以上 122 ポンド(55.338 ㎏)未満
ファザー級	122 ポンド(55.338 ㎏)以上 126 ポンド(57.153 ㎏)未満
スーパー・ファザー級	126 ポンド(57.153 ㎏)以上 130 ポンド(58.967 ㎏)未満
ライト級	130 ポンド(58.967 ㎏)以上 135 ポンド(61.235 ㎏)未満
スーパー・ライト級	135 ポンド(61.235 ㎏)以上 140 ポンド(63.503 ㎏)未満
ウェルター級	140 ポンド(63.503 ㎏)以上 147 ポンド(66.678 ㎏)未満
スーパーウェルター級	147 ポンド(66.678 ㎏)以上 154 ポンド(69.853 ㎏)未満
ミドル級	154 ポンド(69.853 ㎏)以上 160 ポンド(72.575 ㎏)未満
スーパー・ミドル級	160 ポンド(72.575 ㎏)以上 168 ポンド(76.364 ㎏)未満
ライト・ヘビー級	168 ポンド(76.364 ㎏)以上 175 ポンド(79.379 ㎏)未満
クルーザー級	175 ポンド(79.379 ㎏)以上 190 ポンド(86.363 ㎏)未満
スーパー・クルーザー級	190 ポンド(86.183 ㎏)以上 210 ポンド(95.454 ㎏)未満

WBC ムエタイルール (12/18/2024 改定)

スーパー・ヘビー級

230 ポンド(104.50 ㎏)以上

計量

- 5.1) 選手は試合前日、試合予定時刻の 24～30 時間前までに計量しなければなりません。
- 5.2) タイ国での試合の場合は、WBC ムエタイ及び地元コミッションの規則および規制に従い、WBC ムエタイスーパーバイザーの同意を得て当日計量を行うという例外が設けられます。
- 5.3) 計量前に、選手は試合立ち合いの医師による健康診断を受け、身体的に健康であることを証明しなければなりません。
- 5.4) 女性選手は非公開で計量を許可される権利があります。その際、計量は女性の役員/証人によってのみ実施されます。
- 5.5) 安全な計量のプロセス。

選手の最終および公式計量は、WBC ムエタイ試合の 24 時間以上 30 時間未満に実施する必要があります。これは、試合に必要な体重制限を満たすために選手が脱水症状を起こし、その後水分補給をすると悪影響が出る可能性があるためです。さらに、WBC ムエタイ試合の前に安全な減量を促すため、ヘビー級以外の選手については、公式の 30日前、14日前、7 日前に規定体重に沿った計量を実施する必要があります。規定体重は次のようになります。

- ✓ 30日前の計量: 試合の30日前に、選手の試合体重制限の10%を超えてはなりません。
- ✓ 14日前の計量: 試合の14日前に、選手の試合体重制限の5%を超えてはなりません。
- ✓ 7日前の計量: 試合の7日前までに、選手の試合体重制限の3%を超えてはなりません。

※ この規則で義務付けられている試合前の計量と健康診断および検査の手配については、選手、マネージャー、トレーナー、プロモーターが責任を負います。これらの当事者が上記のガイドラインに従わなかった場合、WBC ムエタイが独自の判断で不適合とみなす措置を講じ、挑戦者の機会またはタイトルを剥奪することがあります。選手が上記の体重制限を超えた場合、WBC ムエタイは選手または対戦相手の安全のため、試合の認可を取り消すか拒否することがあります。

- 5.6) 計量時に規定を満たさなかった選手は、タイトル獲得の資格を失います。試合は続行できますが、体重を計りタイトルを獲得できる対戦相手の安全のため、計量をクリアした選手は、試合当日にタイトル規定体重より 2.2 kg (5 ポンド) 以上体重がオーバーしている必要があります。

尚、試合を実行するには、すべての関係者の同意が必要です。

ルール 6: ルール7儀式及び習慣

- 6.1) 敬意を表す: 試合前に、すべての選手は、タイの楽器であるジャワのオーボエ、ジャワのタムタム (太鼓)、そしてリズム用の小さなカップ型シンバル 2 個を伴奏に、ムエタイの古代の芸術と慣習に敬意を表す必要があります。敬意を表した後、試合が始まります。

ワイ クル/ラム(Wai Kru/Ram)の演技は宗教的なものではなく、ムエタイのスポーツと文化に特有の文化的芸術形式です。

ルール 7: ラウンド

- 7.1) WBC ムエタイの男子プロの試合は、各ラウンド3 分 X 5ラウンドで構成され、ラウンド間には2分間のインターバルがあります。女子の試合は、各ラウンド 2分 X5ラウンドで構成され、ラウンド間には2分間のインターバルが



WBC ムエタイルール (12/18/2024 改定)

あり、ラウンド間のインターバルは前のラウンドに含まれます。

*WBC ムエタイのプロ女子世界タイトル試合は、地元のコミッション、両陣営、および WBC ムエタイが任命したスーパーバイザーの同意を得て、3分間のラウンドで行われる場合があります。

ルール 8: 選手の資格

- 8.1) WBC ムエタイのプロタイトルを獲得するための最低年齢は、タイ王国以外では18歳です。タイのスポーツ庁管理委員会の規定では、タイ国内での最低年齢は16歳で、選手はタイ国内でタイのスポーツ庁管理委員会管理下にて、完全に登録されている必要があります。
- 8.2) 現在ランキングに載っていないタイ スタジアム チャンピオンは、WBC ムエタイタイトル委員会の最終承認に従い、特別な状況下で空位の WBC ムエタイ世界タイトルを争う資格を得ることができます。

ルール 9: セCOND

- 9.1) 選手は3人のセCONDを持つことができますが、タイトル戦の場合、ラウンドのインターバル中にリングに入ることができるのは 2人のセCONDのみです。チーフ セCONDは WBC ムエタイ ルール ミーティングで承認されます。

セCONDの職務:

- 9.2) セCONDは試合中、安全な距離から口頭でのみアドバイスを与えることができます。セCONDがルールに違反した場合、レフェリーは警告、注意、または職務の解除を行います。
- 9.3) 試合中、セCONDは席に座らなければなりません。各ラウンド開始前に、セCONDはリングの端からタオル、水ボトル、その他のすべての物を片付けなければなりません。
- 9.4) インターバル中、セCONDは選手のグローブ、シューズ、その他の着用アイテムをチェックしなければなりません。問題がある場合は、チーフセCONDが直ちにレフェリーに報告して解決しなければなりません。
- 9.5) セCONDは失礼な言葉や暴言を使ってはならず、試合中または試合後に選手を(身体的に)傷つけてはなりません。
- 9.6) セCONDはコーナージャケット/ベストを着用しなければなりません。コーナージャケットには不快な言葉やシンボルが付いてはなりません。
- 9.7) セCONDは、自分のコーナーに以下のモノを持参することができます:
 - 水
 - 氷
 - タオル
 - アドレナリン 1/1000 溶液またはリング ドクターが承認したその他の物質
 - 日本の場合、使用には薬剤師免許が必要です。
 - ガーゼ
 - 綿棒
 - 安全はさみ
 - バセリン
 - 吸収性綿包帯または傷用包帯・テープ
- 9.8) 選手のチーフセCONDは、選手の安全を守るために、リングエプロンに上がってレフェリーの注意を引くことで、試合を止めようとする場合があります。試合を止める際にスポンジやタオルをリングに投げ込むことは禁止されています。試合を中止する最終決定は、リングサイドの医師と相談したのちレフェリーが行います。



WBC ムエタイルール (12/18/2024 改定)

ルール 10: レフェリー

10.1) レフェリーは青または黒のズボン、左側のポケットに公式 WBC ムエタイ ロゴの入った薄緑のシャツまたは黒のポロシャツ、WBC ブランドのポロシャツ、軽量で動きやすいシューズを着用する必要があります。眼鏡や金属の装飾品は着用できません。爪はきれいに切っておいてください。

10.2) レフェリーの義務:

レフェリーの第一の優先事項は、選手を不当な怪我から保護することです。

レフェリーは常にルールと正義を守らなければなりません。

レフェリーは常に両選手への配慮を最優先にしながら、試合を綿密に管理しなければなりません。

レフェリーは選手のグローブ、ウェア、マウスピースを検査しなければなりません。

レフェリーは以下の 3 つのコマンドを使用する必要があります。

- 「หยุด」(YUD): 選手に停止を命じる。
- 「แยก」(YAK): 選手に互いから離れるよう命じる。「แยก」コマンドの後、両選手は少なくとも 1 歩後退してから再び試合に臨まなければなりません。
- 「ชก」(CHOK): 選手に試合を命じる。レフェリーは、違反行為をした選手に対して、強い言葉で注意しなければなりません。

レフェリーは、ロープを掴んで相手を蹴ったり膝蹴りしたりするなど、故意にルールに違反して攻撃する選手を許してはなりません。

レフェリーは、カウントの早さや遅さ、警告の有無などで有利な立場に立つ選手や有利な立場を失う選手を危険にさらすような行為を行ってはなりません。

各ラウンドの終了時に、レフェリーは 3 人のレフェリーからスコアカードを回収します。その後、すべてのスコアカードを WBC ムエタイ スーパーバイザーに渡し、スコアマスターシートに集計してもらいます。

レフェリーは、試合のスーパーバイザーから許可を得ない限り、今後の試合や過去の試合結果について批判したりインタビューを受けたりすることはできません。

10.3) レフェリーの権限:

- 一方の選手がもう一方の選手を圧倒し、選手の健康と安全に危険を及ぼすほどになった場合、試合を中止する。
- 選手が試合続行不可能なほど重傷を負った場合、試合を中止する。レフェリーは、アドバイスを求めるためにリングドクターに相談することができる。
- 選手が故意に試合を妨害していると判断した場合、試合を中止する。この場合、選手のどちらか一方または両方が失格となる可能性がある。
- カウントを続けると選手が危険にさらされる可能性があるとして判断した場合、カウントを中止する。
- カウントが終了する前に対戦相手が最も遠いニュートラルコーナーに行かなかった場合、カウントを中止する。
- 選手にルール違反を警告または注意するため、またはルールを施行するその他の理由で、試合を中止する。
- レフェリーの指示を無視したり、レフェリーに身体的危害を加えたり、レフェリーに対し攻撃的な態度を取る選手を失格にする。
- レフェリーの指示に従わなかったセコンドがいる場合、レフェリーの指示に従わなかったセコンドの選手を失

WBC ムエタイルール (12/18/2024 改定)

格にすることができる。

- ルールに著しく違反した選手に対して、レフェリーは失格にする権限を持つ。または、警告または注意の後、あるいは以前に警告または注意をすることなく、試合を「ノー ディシジョン」と宣言することができる。
- ルールに違反した選手を警告するには、レフェリーは、違反した選手に警告する前に、選手が警告の原因を理解できるように、攻撃を停止し、ハンド シグナルを示し、すべてのジャッジに警告があることを知らせなければならない。レフェリーは、3回の警告を受けた選手を失格にするか、「ノー ディシジョン」を宣言しなければならない。重大な違反の場合、以前に警告を受けていなくても、レフェリーはその選手を失格にするることができる。

10.4) ステージ外の選手のカウント手順:

- 選手が対戦相手の有効な攻撃により、選手がリング外に落ちた場合、レフェリーは対戦相手に最も遠いニュートラルコーナーに行くように命じなければなりません。リング外の選手がリングに戻るのが遅すぎる場合、レフェリーは直ちにカウントしなければなりません。
- リング外に落ちた選手については、レフェリーは「ຍສປ」(YISIP)または 20 までカウントしなければなりません。
- 選手のどちらかまたは両方がリング外に落ちた場合、レフェリーは「ຍສປ」(20)までカウントしなければなりません。
- 20 を数える前に選手がリング内に入ることができた場合、試合は続行されます。
- 選手がリング外に落ちた場合、誰かが選手のリングへの上がりを妨害したり遅らせたりした場合、レフェリーはカウントを中止します。レフェリーは違反者に明確に警告し、カウントを続行します。違反者が従わない場合は、レフェリーは試合を中止し、該当選手を失格とする。
- 両選手がリングの外で落ちた場合、レフェリーはカウントをします。どちらかの選手がアクションを遅らせようとした場合、レフェリーはカウントを止め、該当選手にはっきりと警告します。その後、レフェリーはカウントを続けます。違反者が従わなかった場合、レフェリーはその選手を失格とし、試合に負けるか「ノー ディシジョン」とします。
- 両選手がリングの外で落ちた場合、レフェリーはカウントを 20 秒以内にリングに戻れる選手を勝者としてします。
- ただし、両選手がカウント20秒以内にリング内に戻れなかった場合、レフェリーは引き分けを宣言します。

ルール 11: ジャッジ

11.1) ジャッジはレフェリーと同じ服装を着用しなければなりません。職務を遂行する際には眼鏡を着用することができます。

ジャッジの職務は次のとおりです:

- 各ジャッジはリングの3辺に座り、視界を遮るものがないようにしてください。試合中、ジャッジは誰とも話をしてはなりません。必要であれば、ラウンドのインターバル中に WBC ムエタイが任命したスーパーバイザーと話し、セコンドの不正行為やロープやリングの破損などがあったことを伝えることができます。
- ジャッジは、客観的に、明確で独立した思考で、ルールに従って試合を採点しなければなりません。ジャッジは、試合の各ラウンド終了直後にスコアカードにスコアを記録しなければなりません。ジャッジは、スコアカードをレフェリーに渡す前にスコアカードに署名しなければなりません。
- ジャッジは、リングアナウンサーが公式結果を宣言し、レフェリーが勝者の手を上げるか、引き分けのために両方を行うまで、席を離れてはいけません。
- ジャッジは、スーパーバイザーから許可を得ない限り、試合結果や過去の試合結果について批判したりインタビューを受けたりしてはいけません。



WBC ムエタイルール (12/18/2024 改定)

ルール 12: タイムキーパー

- 12.1) タイムキーパーはリング脇の座席に座らなければなりません。
- 12.2) タイムキーパーの職務:
- 各ラウンドのラウンド数と試合時間、ラウンド間のインターバル時間、タイムアウトの時間を記録する。
 - ベルを鳴らしてラウンドの開始と終了を知らせる。
 - 各ラウンドの開始前に 5 秒間合図してリングをクリアする。
 - 中断時間またはレフェリーの指示により停止された時間を減算する。
 - ストップウォッチまたは時計で常に正確な時間を計る。
 - タイムキーパーは、たとえそのラウンドの試合時間が終了してもレフェリーがカウントしている間はベル合図をしてはならない。タイムキーパーはレフェリーが「ชก」(CHOK) と指示するとベルを鳴らす。

ルール 13: 判定

- 13.1) ポイントによる勝利
- 試合終了時に、ポイントによる勝利には3つの結果が考えられます。
 - 全員一致の判定 (UPD)、3人の審査員全員が同じ選手に有利な判定をした場合。
 - 分割判定 (SPD)2人の審査員が 1人の選手に有利、1人の審査員がもう1人の選手に有利な判定をした場合。
 - 多数決の判定 (MPD)2人の審査員が1人の選手に有利な判定をし、1人の審査員が引き分け。
- 13.2) ノックアウト(KO)による勝利
- 選手がノックダウンされ、10 秒後に試合を続行できない場合、対戦相手がノックアウトで勝利します。
- 13.3) テクニカル ノックアウト (TKO) による勝利
- 選手が相手を非常に明らかに圧倒しているか、相手が重傷を負う可能性がある状況で一方向的に相手を圧倒している場合。
 - 相手がインターバル後すぐに試合を続行できない場合。
 - 相手が重傷を負い、試合を続行できない場合。
 - 相手が 1 ラウンドで 2 回 (=3 回) 以上、または第1ラウンド以降の試合全体で 4回 (=5回) 以上カウントされている場合。
 - 相手がリングから落ち、レフェリーが「ยิสิป」(YISIP) または 20 を数えた後もリングに戻れない場合。
 - 対戦相手が怪我やその他の理由により故意に試合から撤退した場合。
- 13.4) 対戦相手の失格による勝利
- 選手がリングドクターの身体検査に合格しなかったり、計量に合格しなかったり、予定通りに試合に現れなかったりした場合、タイトルは「無効試合」と宣言されます
- *タイトル試合でチャンピオンが計量できなかったり、身体検査に合格できなかったり、現れなかったりした場合、タイトルは空位と宣言されます。
- *チャンピオンが計量失敗し、双方の選手が戦うことに同意し、チャンピオンが負けた場合、挑戦者が新しいチャンピオンと宣言されます。
- *挑戦者が計量失敗した場合、試合は無効試合と宣言されます。
- 13.5) 引き分けの判定
- 引き分け試合の判定には、3つの方法があります:
- 全員一致引き分け (UD)3人の審査員全員が引き分けと判定

WBC ムエタイルール (12/18/2024 改定)

- 多数決引き分け (MD) 2 人の審査員が引き分けと判定し、1 人の審査員が勝者を判定
 - スプリット ドロー (SD) 審査員が引き分けと判定し、他の2人の審査員が別の勝者を判定
- 両方の選手がノックダウンされ、“su” (SIP) または 10 でカウントアウトされた場合
両方の選手がリングから落ちた場合、試合を続行することはできません。

13.6) 判定なし No Decision

レフェリーがどちらかの選手または両方の選手が「不名誉な戦い」をしたと判断した場合、レフェリーは「レッドコーナー/ブルーコーナー/または両方の選手が不名誉な戦いをしたため、この試合には判定はありません」と宣言します。

13.7) 試合無効 No Contests

選手が故意に試合を妨害し、レフェリーから警告や注意を受けたにもかかわらず、試合を妨害し続ける場合、レフェリーは試合を中止し、「その試合は試合無効」と宣言するものとします。

13.8) 試合の中止

リングの破損、観客の暴動、予期せぬ事態により試合続行が不可能となった場合、レフェリーは試合を中止し、「試合中止」を宣言する。

13.9) タイトル剥奪

現在の WBC ムエタイ チャンピオンが、自身のタイトル タイトルの体重カテゴリー内で、またはそれ以下のカテゴリーでプロのムエタイ 試合に出場し、その試合で KO または TKO で負けた場合、その WBC ムエタイ タイトルは剥奪と宣言されます。

ルール 14: 採点手順

適切な採点は、次の基準に従って行う必要があります:

選手が拳、足、膝、肘を効果的にムエタイの武器として使用し、ルールに従って効果的かつ強力なテクニックで相手を力強く、正確に攻撃した場合、効果の低い打撃よりも高い得点が与えられます。どの武器でも、効果的な実行は、効果の低い攻撃よりも高い得点が与えられます。

ムエタイは格闘技であることを覚えておくことが重要です。試合開始時はすべての武器が平等ですが、事実上、うまく実行されたボディキックはカウンターストレートパンチよりも得点が高く、パンチが得点にならないことを否定するわけではありませんが、得点につながるボディキックを当てる技術は高度な技術であり、膝、肘などと続きます。有能なジャッジは、ムエタイの試合の採点の複雑さを理解しなければなりません。ムエタイはキックボクシングではありません。

採点手順

ムエタイの武器と技を効果的に使用して相手により多くのダメージを与え、より重く、強力で、正確な攻撃を相手に与え、攻撃のスキル(ダメージ)、リング上での支配(優位性)、防御のスキルで明確かつ効果的な攻撃を繰り出すことができる選手はラウンドを勝ち取るのに貢献します。攻撃テクニックを効果的に実行することが評価されます。

14.1) 10 ポイントマスト・システムとスコアリングの説明

- ラウンドの勝者は 10 ポイントを獲得する必要があります
- ラウンドの敗者は、ラウンドのさまざまな要因に応じて、9、8、7、または最低 6 ポイントを獲得します。
- 明確な勝者がいない場合は、両方の選手が 10 ポイントを獲得します。



WBC ムエタイルール (12/18/2024 改定)

- 疑わしい場合は、同点にスコアリングします。タイトルの試合での反則に対するレフェリーによるポイント減点は、スーパーバイザーの集計表に累積されます
 - ラウンド終了時、どちらかの選手にラウンドを与えるほど明確でない場合は、10-10 スコアが与えられます。
 - 出来るだけラウンドを同点にスコアリングしないように指示されているからといって、片方の選手に有利なラウンドをスコアリングすることは、選手にとって不公平です。
 - 10-9 のスコアは、全体的なアクションで一方の選手がわずかに有利なラウンドで与えられます。
 - 10-9 のスコアは、明らかな有利があるが圧倒的な有利ではない場合にも与えられます。
 - 10-8 のスコアは、ノックダウンがあり、残りのラウンドでノックダウンを獲得した選手がわずかに有利な場合に与えられます。
 - 10-8 のスコアは、圧倒的に一方的なラウンドの場合に与えられます。ノックダウンがなくても、一方の選手がもう一方の選手に実際に勝った場合は、常に 10-8 ラウンドとなります
 - 選手 B が 8 ダウンを取ったが、ダウンを取られた選手 A が明らかに疑いなくこのラウンドの残りを勝った場合、選手 A に 10-9 のスコアが与えられます
 - ノックダウンされた選手が立ち上がり、その後ラウンドの残りで相手をノックダウンした場合、10-10 のスコアが与えられます
 - 両方の選手がノックダウンされたが、どちらかがラウンドの残りを勝った場合、10-9 のスコアが与えられます
 - 同じ選手が 2 回ノックダウンされた場合は 10-7 のスコアが与えられますが、常にその前に何が起きたか、ノックダウンがあったかどうかを考慮してください
 - 10-6 より低いスコアが与えられるラウンドはありません。
- 14.2) スコアカードをレフェリーに渡す前に、スコアカードが正確で、各ラウンドの結果が反映されていることを確認してください。
- 各ラウンドの開始時に、ジャッジはベルが鳴ると、まずは 10-10 から始めてください。
 - ジャッジの心が集中し観察した結果、ラウンド終了時に双方の選手のアクションに違いが見られない場合、これは 10-10 です。
 - ラウンド全体で目撃したことに基づいて、選手の 1 人が他の選手よりわずかにリードしていた場合は 10-9 ラウンド (近い) です。
 - ラウンド全体で目撃したことに基づいて、選手の 1 人がリードしていると予測されます。これも 10-9 ラウンド (中程度) です。
 - ラウンド全体で目撃したことに基づいて、選手の 1 人が大差でラウンドを勝ち取ると予想しました。これも 10 対 9 ラウンド (決定的) です。
 - ラウンド全体で目撃したことに基づいて、1 人の選手が一方的に打ち負かし、ラウンドを通して相手にダメージを与えており、欠けていたのはノックダウンだけです。これは 10 対 8 ラウンドです。恐れずに 10 対 8 をつけてください。

14.3) ポイントの基準(ジャッジの見どころ)

クリーンかつ効果的な打撃:

相手にパンチ、肘、膝、またはキックを力強く、量感と正確さで当て、相手にダメージ、支配し、またはふらつきを引き起こしたかを確認します。



WBC ムエタイルール (12/18/2024 改定)

ダメージ:

相手の攻撃をしている場合、相手を倒したり、よろめかせたり、相手の攻撃力を鈍らせるような大きな打撃を与えたりといったダメージを与えたかを確認します。

支配:

相手を支配しようとしている場合、繰り返しヒットした打撃における圧倒的な優位性、またはカウンター攻撃を行い、最後にどちらかが打撃をヒットさせたかを確認します。

攻防:

相手に傷つけられたりコントロールされたりすることを防ごうとしている場合、妨害の方法、戦略を変えて相手に優位に立つ効果的なカウンター攻撃、相手を防御姿勢に追い込む攻撃を確認します。

効果的な攻撃の意志:

相手を攻撃しようとする強い意志(前進、後退、または静止)を持ち、相手に打撃を正確に当ようとしたかを確認します。効果的な攻撃と単なる攻撃には明らかな違いがあることを覚えておいてください。

リングジェネラルシップ:

対戦相手よりも試合中のバランス、ペース配分、位置取り、スタイルをコントロールしていたかを確認します。

ディフェンス: 攻撃を受けないように巧みな回避行動(防御)を見せ、攻撃戦略の一環として相手の攻撃を無効にする防御メカニズムを使用したかを確認します。

ジャッジ中は、試合中は自分のタスクに集中して以下のことを行ってください。

- 各ラウンドをそれぞれ切り離して別々に採点を行う。
- 前のラウンドを振り返らない・次のラウンドを気にしない。
- 注目する点: ダメージ、優位性、精神的混乱

評価する点:

効果的な攻撃、リングでの指揮、防御

ノックダウンを採点する際、1 ラウンドで 1 回のノックダウンが自動的に 10-8 ラウンドになるわけではなく、1 ラウンドで 2 回のノックダウンが自動的に 10-7 ラウンドになるわけではなく、1 ラウンドで 3 回のノックダウンが自動的に 10-6 ラウンドになるわけではありません。審査員は、ノックダウンの前後に何が起こったかを考慮する必要があります。

クリンチ中での得点

1. ムエタイのテクニックは力強くターゲットに命中させる必要があります
2. ムエタイのテクニックは効果的でなければ得点になりません
3. ムエタイのテクニックは反則があってはならず、反則に続いてはいけません

クリンチ全般

1. 片方または両方の選手が得点力のあるクリンチテクニックを適用した場合、クリンチは継続されます。
2. 両方の選手が非力なクリンチテクニックを使用している場合、クリンチは停止されます。



WBC ムエタイルール (12/18/2024 改定)

3. 両方の選手が打撃なしで優位なクリンチポジションを目指している場合、両方の選手が取り組んでいてロック、ホールド、または動きが止まっていない場合は、クリンチは一定期間継続されます。
4. 両方の選手が優位なクリンチポジションに到達できない場合、クリンチは直ちに停止されます。
5. 一方の選手が効果的なロックポジションを試みた場合、一定期間継続された後クリンチは停止されます。
6. 一方の選手が、得点力のあるテクニックを適用できない体制で防御としてのクリンチテクニックを適用した場合、クリンチは停止されます。

ルール 15: 反則行為

以下の行為は反則行為となります。

- 噛みつき、目を突く、相手に唾をかける、頭突き、ファールカップを殴る。
- 背骨を折る(さば折)、柔道の投げ技やレスリングの技を使う。
- 相手より優位に立つために故意にロープを掴む。
- 試合中に挑発的な態度や言葉を使う。
- レフェリーの指示に従わない。
- 相手のファールカップに膝を打つ。

例えば、ファールカップに膝を打つために首を押さえる、保護カップにまっすぐ膝を打つ、または保護カップに飛び膝を打つ。これらの違反に対して、レフェリーは攻撃された選手に 5 分以内のインターバル時間を与える権利があり、レフェリーは反則行為をした選手を敗者または「判定なし」と宣言する。

- 相手の足を掴み、攻撃を行わずに 2 歩以上前に進む。レフェリーは選手に停止を命じ、注意を与える。2 回の注意の後、レフェリーは選手に警告を与える。
- 蹴った足を掴まれた状態で蹴った後、選手がリングの床に故意に倒れ込む。これは相手をだます行為とみなされる。レフェリーは注意を与える。レフェリーが 2 回の注意を与えた場合、レフェリーは警告を与える。
- 両選手がリングから落ち、どちらかの選手がアクションを遅らせようとした場合。
- 後頭部、首、または脊椎への打撃。
- ファールカップへの故意のキック。

ルール 16: ノックダウン

- 16.1) 「ノックダウン」とは、合法的な打撃により、選手がキャンバスに倒れる状況を指し、レフェリーが義務的に8までカウントをしなければなりません。

レフェリーが試合を中止するか、8カウントを与える必要がある合法的な打撃により、選手がリングロープに無力にもたれかかったり、リングロープに寄りかかったり、リングロープに座ったりした場合。

激しい打撃を受けた後、選手は倒れることなく耐えますが、防御できない状態の場合。

- 16.2) ノックダウンの手順

選手が攻撃を受けてダウンした場合、レフェリーはカウントを開始すると同時に、相手選手に最も遠いニュートラル コーナーに行くよう指示します。相手選手がこの指示に従わなかった場合、レフェリーはその選手が最も遠いニュートラル コーナーに行くまでカウントを停止する必要があります。相手選手に最も遠いニュートラル コーナーに行くのが確認された時点で、レフェリーは最後にカウントした数字の次の数字をカウントし続けます。

ノックダウンされた選手が立ち上がって準備ができれば、「ชก」(CHOK)。

ノックダウンされた選手がレフェリーが「สิบ」(SIP)または 10(10)を数える前に立ち上がって準備ができて、まだ「แปด」(PAD)または 8(8)になっていない場合は、レフェリーは「แปด」(8)までカウントを続け、その後「ชก」



WBC ムエタイルール (12/18/2024 改定)

(CHOK)を命じて試合を続行する必要があります。

ノックダウンされた選手が「10」カウント前に試合続行の準備ができていたが、追加の攻撃なしで再び倒れた場合、レフェリーは最後にカウントした数字の次の数字をカウントし続けます。

ノックダウンされた選手が「10」カウント前に試合続行の準備ができない場合、試合は終了したものとみなされ、レフェリーはノックダウンされた選手が試合に負けたと宣言します。

両選手が同時に倒れた場合、リングにまだ 1 人の選手がいる限り、レフェリーは試合続行の義務を負うものとしません。

両選手が「10」カウントアウトまで立ち上がることができない場合、レフェリーは「引き分け」を宣言します。

ダウンした選手の両腕または両足が絡まっている場合、または片方の選手がもう一方の選手の上にいるが立あがろうとしている場合、レフェリーはカウントを止め、両者を引き離さなければなりません。その後、リングの床に 1 人の選手が倒れている場合はカウントを続けます。

- 16.3) ノックダウンの場合、レフェリーは 1 秒が経過するのを待ってから、1 秒間隔で 1 から 10 まで大きな声でカウントを開始する必要があります。カウント動作に加えて、レフェリーは選手がカウントを認識できるように 1 秒ごとに手信号を表示する必要があります。
- 16.4) ラウンド間のインターバルの直後に試合を続行する準備ができていない選手がいる場合、服装の乱れやリングの破損・汚れなど、試合に適した状態ではない場合を除き、レフェリーはカウントする必要があります。
- 16.5) プロのムエタイにはスタンディング 8 カウントはありません。立っている選手が過度のダメージを受けている場合、選手の健康と安全を守るために、レフェリーは専門的な判断で試合を中止する必要があります。

ルール 17: 握手と敬意

両選手は、第1ラウンドの試合開始前と最終ラウンドの試合開始前に握手を交わし、スポーツマンシップの精神とルールに従って戦うことを表明します。

ルール 18: リング ドクター

リング ドクターの職務: リング ドクターは、最後の試合が終了するまで、試合中は指定されたリングサイドの席にいない限りなりません。

- 18.1) リング ドクターの職務
計量前に選手の身体検査を行い、選手が身体的に健康で、禁止されている病気や疾患がないことを確認します。
- 18.2) 要請に応じてレフェリーに助言や提案を行い、緊急の治療が必要な選手には医療処置を提供します。
VADA 規則および世界ボクシング評議会ムエタイ規則に従って、無作為のアンチ・ドーピング検査を実施します。

ルール 19: 薬物または禁止物質

選手が普段の食事に含まれない薬物や化学物質を使用することは禁止されています。

リング ドクターの許可がある場合のみ、局所麻酔用の物質を使用することは可能です。

禁止物質を使用する選手、または選手に禁止物質を与えた人物は、WBC ムエタイ実行委員会によって罰せられます。

薬物または禁止物質の規則に違反した選手または関係者は、WBC ムエタイ実行委員会によって決定された期間、罰せられ、ムエタイのあらゆる試合または活動への参加が禁止されます。



WBC ムエタイルール (12/18/2024 改定)

ルール 20: タイトルの防衛

20.1) 防衛のタイミング

WBC ムエタイの方針は、ランキング上位の選手にタイトルを争う機会を提供することです。そのため、WBC ムエタイはチャンピオンの活動停止により、タイトルが凍結されることを防ごうとしています。したがって、可能な限り、WBC ムエタイ チャンピオンは少なくとも年に2回はタイトルを防衛するよう努めるべきであり、WBC ムエタイの会長から許可がない限り、以下のルールが厳格に適用されます。

20.2) 世界チャンピオン

世界チャンピオンは、タイトル取得日または最新のタイトル防衛日から 6 か月以内にタイトルを防衛する義務があります。6 か月の期間が経過した後、世界チャンピオンには WBC ムエタイ本部にタイトル防衛の予定を通知するため、さらに 60 日間の猶予期間が与えられます（こちらの決定は WBC ムエタイ本部の独自の裁量によります）。60 日間の猶予期間中に、WBC ムエタイ本部がチャンピオンまたはチャンピオンの代理人から防衛の予定を通知する連絡を受けなかった場合、WBC ムエタイ本部は、事前の書面または口頭による通知なしに、当該チャンピオンの世界タイトルを剥奪する権利を保持します。チャンピオンまたはチャンピオンの代理人が世界タイトル防衛を拒否した場合、WBC ムエタイ本部は独自の裁量により、WBC ムエタイ世界チャンピオンの世界チャンピオンとしての地位を直ちに剥奪する権利を保持します。

世界チャンピオンは、世界タイトルを獲得した後、WBC ムエタイに 1 回の自主防衛をする権利を有します。その場合、WBC ムエタイ本部の承認を待って、その階級またはそれより上または下の階級の現在の世界ランキング上位 15 人の選手の中から相手を選び、タイトルを防衛することができます。

20.3) インターナショナル・チャンピオン

インターナショナル・チャンピオンはタイトルを獲得した日から 6 か月以内に防衛するか、WBC ムエタイ本部にタイトル防衛の確定を通知する必要があります（妥当な期間内に）。通知しない場合は、WBC ムエタイ本部は 6 か月の期間終了後いつでも、事前の書面または口頭による通知なしにチャンピオンを剥奪できます。チャンピオンまたはチャンピオンの代表者は、6 か月の期限が切れる前に、WBC ムエタイ本部にタイトル防衛の意思を伝える責任がある。

20.4) 地域チャンピオン

すべての地域チャンピオンは、6 か月間タイトルを保持できます。さらに、防衛期間終了の 2 か月前に通知する必要があります。6 か月の期間が終了すると、地域、全国、または州のチャンピオンは、防衛について地元の WBC ムエタイ代表に通知する必要があります。地元の WBC ムエタイ代表または WBC ムエタイ本部に代わって行動する権限のある人物は、チャンピオンがタイトルを獲得した日から 8 か月以内に、事前の書面または口頭による通知なしにタイトルを放棄する権利を保持します。

20.5) チャンピオンベルト/チャンピオンの体重

WBC ムエタイのベルトを防衛する場合、チャンピオンは計量にベルトを持参し、試合のリングにもベルトを持参する必要があります。試合中、ベルトは WBC ムエタイのスーパーバイザーが保管します。防衛戦でチャンピオンが試合でタイトルを失った場合、ベルトは宣伝目的のみでリングで新チャンピオンに贈呈されます。試合当日に宣伝写真が完成したら、ベルトは負けたチャンピオンに直ちに返却されます。すべての新チャンピオンは、タイトル獲得後 1 か月以内に WBC ムエタイから新しいベルトを受け取ります。WBC ムエタイタイトル戦のプロモーターは、新チャンピオンのベルトを購入する責任があります。

ディフェンディング・チャンピオンは、タイトル防衛に成功しても新しいベルトを受け取る権利はありません。ただし、



WBC ムエタイルール (12/18/2024 改定)

プロモーターは、要請があれば、ディフェンディング チャンピオンに新しいベルトを購入することができます。ただし、このベルトはレプリカです。空位のタイトルを複数回獲得した場合にのみ、チャンピオンは複数回の WBC ムエタイ チャンピオンとして認められます。

20.6) 地域チャンピオンから世界チャンピオンまで、すべての WBC ムエタイ チャンピオンは、1 階級で 1 つの WBC ムエタイ タイトルしか保持できません。同時に 2 階級でチャンピオンになることはできません。

20.7) タイトルの異議申し立て

世界タイトルおよびインターナショナルタイトルの試合の結果のみ、バンコク本部を通じて異議申し立てができます。すべての地域および国内タイトルの試合の結果は、関連する地域の WBC ムエタイ委員会または代表者を通じて異議申し立てを行う必要があります。

異議申し立ては、タイトル 試合終了後 3 日以内に、次の情報を添付して受領する必要があります。

◇ 試合の高解像度の障害のない映像と異議申し立ての理由。

3 名（世界タイトルおよびインターナショナルタイトルのみ本部）で構成されるタイトル審査委員会によるすべての決定は最終的なものです。

異議申し立ての処理には 500 ドルの手数料がかかります。

異議申し立てが成功した場合は 300 ドルが返金されます。すべての異議申し立ては、muaythai@wbcmuaythai.com を通じて処理されます。

20.8) チャンピオンの不活動。

WBC チャンピオンが、WBC ムエタイ本部 が個別に決定した期間内に防衛義務を履行するのを妨げる、または不当に遅らせるような形で不活動状態にある、または不活動状態になる可能性がある場合、この期間は、その時点でその当該部門の固有の事実と状況に基づき、WBC はタイトルを空位と宣言し、空位となったタイトルを埋めるために 1 試合以上の試合を命じることができます。

このような不活動状態は、

(i) 過去および継続的な不活動期間、または

(ii) チャンピオンが本規則で要求されているように速やかにタイトルを防衛するのを妨げる可能性のある将来的な不活動状態のいずれかです。

WBC は、特別な状況に基づいてそのような決定を下すことがあります。特別な状況には、以下が含まれますが、これらに限定されません。

- 医療上の問題または負傷。
- 法的問題または契約上の障害。
- 個人または家族の問題。
- 選手または WBC の制御が及ばないかどうかにかかわらず、その他の論争または状況。
-

WBC チャンピオンの唯一の責任は、タイトル防衛義務の遵守を妨げる可能性のある状況を WBC に書面で速やかに通知することです。チャンピオンがそのような状況を WBC ムエタイ本部 に速やかに通知しなかった場合、WBC ムエタイ本部はタイトルの剥奪やその他の罰則を含む適切な措置を講じることがあります。

20.8) 休眠中のチャンピオン

特定のケースでは、チャンピオンが健康上の理由でタイトル防衛の義務を果たせない場合、WBC ムエタイ本部は独自の裁量で世界チャンピオンを「休眠中のチャンピオン」に指定することがあります。選手が復帰すると、優先的な候補としてタイトル戦に出場し、新チャンピオンと対戦する資格を得ます。休眠中のチャンピオンは(義



WBC ムエタイルール (12/18/2024 改定)

務的)挑戦者として復帰できますが、WBC ムエタイ本部による明確な決定と書面による承認がある場合のみであり、WBC ムエタイ本部は独自の裁量でそのような要求を承認または拒否できます。またチャンピオンの休眠期間には、休眠中チャンピオンになった日から 120 日間の制限があります。

20.9) WBC ムエタイタイトル統一戦

WBC ムエタイの規則に従い、WBC ムエタイ本部はタイのスタジアムで公認されたタイトルの統一戦のみを認めるものとします。国内、地域、世界タイトルを含む WBC ムエタイタイトル戦では、他の国際ショナル認可団体との統一戦は行われません。WBC ムエタイは、他の組織の権威や活動に干渉しません。

ルール 21: 医療プロトコルと試合のタイミング

- WBC ムエタイ タイトル 試合予定日の 45 日以内に TKO で負けた選手は、WBC ムエタイ タイトルを争うことはできません。
- また、KO で負けた場合は 60 日以内に負けた選手は、WBC ムエタイ タイトルを争うことはできません。(KO の重大さによっては出場停止期間が長くなる場合があります)。
- 安全上の理由により、WBC ムエタイ タイトル 戦予定日の 21 日前までに試合を行った選手は、WBC ムエタイ タイトル 試合に出場できません。
- このルールに違反し WBC ムエタイ タイトルの 21 日以内に試合を行った選手は、WBC ムエタイ タイトルの認可を取り消す権利を自動的に WBC ムエタイ本部に与えます。
- WBC ムエタイタイトル戦への出場が検討されている選手で、WBC ムエタイタイトル戦の予定日から 90 日以内の試合で KO または TKO で負けた選手は、WBC ムエタイが試合の認可を検討する為に、登録医師による完全な健康診断を受け、現地登録医師による完全な許可(許可の文書を WBC ムエタイ本部に提出書類)を得る必要があります。

21.1) ノックアウト/テクニカルノックアウト後の検査。

選手の健康を保護するため、ノックアウト (KO) または (TKO) された選手は、試合後できるだけ早く医療検査を受けなければなりません。このような検査は、試合が行われた地域のコミッション、選手の地域の WBC 委員会、または WBC ムエタイ本部が承認した医療当局の許可の下で実施する必要があります。ノックアウト、テクニカルノックアウト、または試合中に選手が異常に激しい打撃を受けたその他の状況に陥った選手に対しては、身体検査 (ただし、完全な神経学的検査、MRI/CAT スキャン、または WBC ムエタイ医療諮問委員会、担当の試合ドクター、または地域のコミッションの医療要件によって推奨されるその他の医療検査またはテストを含むが、これらに限定されない) を実施する必要があります。

21.2) ノックアウト後の休息期間。

ノックアウトにより脳震盪またはその他の重度の外傷や負傷を負った選手は最低 45 日間、ノックアウトに限らず、脳震盪外傷の後、最低 30 日間はスパarring セッションに参加しないでください。

21.3) ノックアウト後の出場停止。

ノックアウトを受けた選手は、最低 60 日間の出場停止となります。2 回連続でノックアウトを受けた選手は、120 日間の出場停止となり、WBC ムエタイ タイトル戦への出場は認められません。WBC ムエタイ タイトル戦の予定日から 45 日以内に TKO で負けた選手は、WBC ムエタイ タイトルを争うことはできません。ノックアウトを受けた選手は、最低 60 日間の出場停止となります。

この場合、WBC ムエタイ タイトルは、90 日間の以内は承認されるべきではありません。

